

“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」

町では、一般廃棄物処理基本計画を策定し、住民・事業者のみなさんの協力のもと「循環型社会」の形成に向けた取り組みを進めています。この実現のためには、一人ひとりが「ごみの減量化」を意識し、環境に配慮した生活や行動が求められています。

今年度より、新たな取り組みとして、5月30日の「ごみゼロの日」を契機として、6月を「可燃ごみ10%減量化大作戦」と題し、住民みなさんへ可燃ごみ減量化に向けたトライをお願いします。

また、この減量化大作戦を継続していただくことで、みなさんが購入する可燃ごみ専用袋の使用枚数の軽減（＝経費削減になります）や、町が西秋川衛生組合へ支払う負担金も軽減されます。

減量化大作戦の結果は、広報おくたま8月号で発表します。

〈トライ目標〉

6月の可燃ごみ量を令和元年度の可燃ごみ量（一人1日あたり709.4g）の10%にあたる638.4g（-71g）への減量を目指してください。

一人1日71gの減量で、町全体では、1か月に10,541kgの減量につながり、単純計算で年間126t（10tダンプ12.6台分）の減量につながります。（人口：令和3年4月1日現在で計算）

一人1日あたりの可燃ごみ量：638.4gの達成へ“レッツ・トライ”

たかが71gでも町全体で年間126t。一人ひとりのトライが大きな結果をもたらします！

【令和元年度の奥多摩町と西秋川衛生組合構成市町村との一人1日あたりのごみ量比較表】

ごみの種類	奥多摩町 年間総量 (トン)	奥多摩町の一人 1日あたりのごみ量 (グラム)	奥多摩町を除く 西秋川衛生組合 構成市町村の一 人1日あたりのご み量平均 (グラム)	比較(グラム) 全てのごみで 奥多摩町が平 均を上回って います	10%減量すると (グラム)
可燃ごみ	1,321	709.4	666.1	+ 43.3	638.46
不燃ごみ	34	18.3	14.0	+ 4.3	16.47
粗大ごみ	88	47.3	46.3	+ 1.0	42.57
有害ごみ	4	2.1	1.5	+ 0.6	1.89
資源	406	218.0	147.6	+ 70.4	196.20
合計	1,853	995.1	875.5	+ 119.6	895.59

*不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ・資源については、発生量に季節的な要因などがあり一概に減量といっても難しいと思いますので、可燃ごみに絞って減量化へのトライをお願いします。

〈減量化への取組方法参考例〉

- ・日用品（シャンプー、台所洗剤、洗濯洗剤など）を購入する際には、ボトルではなく詰め替え可能な製品を購入しましょう。
- ・包装紙や布類で、資源に回せるものは、資源として出すことを徹底しましょう。
- ・生ごみはよく水切りしましょう。（生ごみの水分量は70～80%とされています。生ごみの水切りをよくすることで、悪臭の防止やごみ袋を小さくすることも可能です）
- ・コンポスター（生ごみのたい肥化）購入の補助制度を利用し、生ごみは、ごみとして出さないようにしましょう。
- ・買い物には、簡易的な包装の物を購入するなど、後からごみになるものを出来るだけ減らしましょう。

※問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎83-2110